

# Interview

## わたしたちの町

平成19年10月31日現在  
( )内は前月比

人口	11,983( ± 0)
男性	5,773( 4)
女性	6,210( -4)
世帯	4,370( ± 0)

「アイデアが浮かぶと夜中でも鶏舎へ駆けつけていました」。そう話すのは馬込の下茂善治さん(54)。平成19年6月、特許第3977855号『換気装置およびそれを備えた鶏舎』で特許を取得されました。

下茂さんは、開放型鶏舎から縦型換気の鶏舎に移行するため、構想から6年かけて換気システムを完成させました。ひよこから出荷されるまでに約50日かかるブローラーの飼育は、温度調節や酸素量の調整が難しく、1日の失敗も許されません。そこで下茂さんは大型のファンが自動で動いたり止まったりするのに対して、大小5つの入気口がバランスよく開閉するシステムを考案し、自分の鶏舎に設置しました。これが『換気装置およびそれを備えた鶏舎』です。

この装置を取り付けてから約1年が経過しますが、換気の負担から開放され、気持ちとともに体も楽になったそうです。下茂さんはこの装置を完成させるまでに、青森やアメリカなどにも研修に行きましました。しかし、理想の鶏舎には出会えず、自作することになりました。最初から「特許が取れるのでは」との思いがあり、人に相談することができず苦勞が耐えなかつたようです。鶏舎だけでなく、生き物すべての管理に使えるという下茂さんは「自分なりに良いも

のができた。使ってもらい、皆さんに喜んでほしい」と話されました。



下茂善治さん



→大型ファン(右)の動きに合わせて小窓(左上)が自動で開閉する鶏舎

■編集後記▽11月は休日のたびにイベントが催され、誰に聞いても「忙しい」という答えが返ってきます。来月はもう師走です。忙しいまま年を越してしまう方も多いことでしょう。温度差が激しく、体調管理が難しいですが、風邪やインフルエンザの季節です。十分な休養とうがい手洗いを心がけましょう。(濱口)